

男女共同参画計画策定のための市民懇談会結果概要

期 日	時 間	場 所
9月30日(火)	午前 10 時 30 分～午前 11 時 30 分	小野上総合支所 2 階(集会室)
9月30日(火)	午後 2 時 00 分～午後 3 時 00 分	子持公民館(第3研修室)
10月1日(水)	午後 7 時 00 分～午後 8 時 00 分	中央公民館(第3学習室)
10月2日(木)	午前 10 時 30 分～午前 11 時 30 分	赤城公民館(会議室)
10月2日(木)	午後 2 時 00 分～午後 3 時 00 分	北橋公民館(302講義室)
10月3日(金)	午前 10 時 30 分～午前 11 時 30 分	伊香保公民館(集会室)
10月3日(金)	午後 2 時 00 分～午後 3 時 00 分	渋川市役所(第4会議室)

総参加者数 50 名(うち女性 23 名)

1 懇談会における主な意見について (概要)

【子持公民館】

□男女共同参画計画・施策についての意見

- ・このような説明会には、もっと若い人たちや自治会の役員などをやっている人にもきいてもらいたい。
- ・自治会の役員を決めるときなど、女性がひいてしまいがち。女性の意識改革も必要。
- ・役員などを選ぶときには女性が引っ込んでしまう。ある程度の指名をして「あなたなら大丈夫だから」とお願いすれば女性も引き受けてくれる。男性ばかりが音頭をとっているようではだめ。
- ・市の他の業務などにおいても職員の意識改革をしていかないことには、男女共同参画につながっていかないのではないかと。

□感想・その他

- ・男女共同参画を進めるためには男性の理解が必要であるし、女性の意識も変える必要がある。
- ・生涯学習フェスティバルなどでは、ほとんどの参加者は女性であるが、会長や副会長は男性になってしまう。

【中央公民館・夜】

□男女共同参画計画・施策についての意見

- ・3者連携で地域のなかでも子どもを見守ることを盛り込んでいってはどうか。
- ・目標を設定しているが無理の無いかたちで自然に進めるのがよいこともある。
- ・保育士でも男性がいたら保育所の安全面でも安心できるのではないか。

□感想・その他

- ・子どもを育てる親としては父親は子育てに関わる仕事が必要ということは分かっているが、時間がなかなか難しい。
- ・各保育園や育成会などで役員には女性もなっているが、長がつくものは男性になってしまう傾向がある。
- ・男性は昼間に仕事をしているので、女性が会長になることも増えてきている。
- ・地域ごとに事情が異なり、女性ばかりが役員になっているときもある。
- ・自治会は女性が少ない。自治会関係の参画は遅れている。
- ・子どもの自主性を育む意味でも子ども会、育成会の組織は必要だと思う。
- ・話を聞いて、(計画が)いいと思った。男性にも聞いてもらえる機会を作ったらよいと思う。
- ・団体で集まる機会に、出前講座の依頼について提案をしてみたい。

【赤城公民館】

□男女共同参画計画・施策についての意見

- ・女性の意識改革が必要であるが、市でも「あたりまえの雰囲気づくり」を取り組んで欲しい。
- ・市がやっていることを広報などで巻き込んでやっていくべき。
- ・男女共同参画はまだまだなじみがない。介護や育児などそれぞれの分野では取り組んでいるがそれらがこの計画に寄与していることについては、あまり知られていない。
- ・農村女性会議をつくってもらいたい。
- ・農業委員についても、女性会議のなかから選ばせてもらいたい。
- ・合併すると女性の進出が阻まれる。女性は活動していても受け入れ体制が整っていない。
- ・男女共同参画は女性にとってはよいことだが、男性にとってはどうなのか。(質問)

□感想・その他

- ・計画に掲げられている課題が現実にあると思う。
- ・責任あることは男性に任せてしまいがち。「夫がいないので会議は休み」ということがないようになればよい。
- ・津久田小学校ではPTA本部役員はほとんどが女性。交通安全指導のために紙芝居などを作って好評を得た。少しずつではあるが女性が出て行くことが多くなった。
- ・働いている母親が多い。時間がないので名前があっても会議などには出てこられない。
- ・親が子どもに教えるべきことがあるが「親」になっていない人もいる。
- ・200人企業で女性が従業員の半数を占める。女性の役員を登用しようとしたが、そこまでの責任を負いたくないという女性が半数いた現状があった。

【北橋公民館】

□男女共同参画計画・施策についての意見

- ・職員の意識改革も大切だが、人事権のある市長も真剣に取り組むべき。
- ・横文字についての解説をわかりやすくつけて欲しい。
- ・女性で能力がある人が管理職にならず、男性で能力が無い人が管理職になる。その人の適性に合うことが大切。
- ・障害を持っているが、仕事で差別されたということはない。事業主の意識が大事なのではないか。
- ・JAでも女性の理事や参事に枠を設けているが、なかなか女性がならない。

□感想・その他

- ・自治会長で女性がいない現状がある。
- ・雇用均等を進めていても女性の割合が一定ではない。
- ・かつては男女の賃金差が現実としてあった。結婚したら辞める人も多かったし、定年まで働いた女性は少ない。
- ・マナーアップの講習などに若い女性職員が講師になると、少し前まではあまり話をまじめに聞かない風潮があった。今はちゃんと聞いている。
- ・「男らしく」「女らしく」と、今まで育ってきた環境で子どもにも接してしまっているところがある。

【伊香保公民館】

□男女共同参画計画・施策についての意見

- ・集まった人たちが中心になって伊香保地区にあった目標をたてて取り組んでいくことがあってもよいのではないか。難しく言わなくてもみんなが理解できるものができるのではないか。
- ・市は意識啓発が大切。
- ・推進員などをつくって引っ張っていく取り組みが必要ではないか。

□感想・その他

- ・群馬県は女性センターの設置をしていない。取り組みが遅れている。
- ・支所の前のトイレは、孫や子どもをつれて安心して入ることができる。しかし、観光地なのに多くの人が入れるようになっていない。古いトイレも残しておいたほうがよいのではないか。
- ・職場では均等法があるが、まずは自分の身近なところから進めていく必要があるのでは。

【本庁舎】

□男女共同参画計画・施策についての意見

- ・男性も女性もといっているが、女性に対しての比重が多いのではないか。
- ・世代で考え方は違っている。もっと身近なことでうったえてもらえたらもっと違うのではないか。
- ・DVの被害者が増えている。計画の策定と緊急援助体制の設置について、どのように考えているのか。(質問)
- ・DV被害者の支援についてひとつの窓口で支援できたほうがよい。

□感想・その他

- ・男か女かということではなく、それぞれの家庭の中で力量を発揮してもらいたい。それぞれが助け合ってやってければよいのではないか。
- ・各々の家庭を見たときに、まだ男女平等は進んでいないのではないか。
- ・男女平等は定着している。みんなでやっていこうという方がよいのではないか。
- ・女性の労働力率が上がっているのは社会的背景の変化が考えられる。高齢者も働かなければならない状況も増えているので平成20年度には高齢者の労働力率も変わっているのではないか。
- ・日本の労働力率が低下しているため女性が労働力として期待されていることがあるのではないか。
- ・自分は男尊女卑の教育を受けてきているので、考え方を变えるのは難しい。